

三

勅授

丙  
昭和五年八月一日

立案 昭和五年七月廿  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長



宗秩寮總裁



宮内事務官

興重院部長榑井恒夫外二十九名  
转位八名

昭和五年七月廿一日  
臺帳記入 月 日 官報報告 済

宮内省

裏面白紙



興亞院部長柳井恒夫外二十九名叙位ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十五年七月二十五日

内閣總理大臣公爵近衛文麿



内

閣

閣位第一八六號

案起

昭和十五年×月×日

裁可  
昭和十五年×月×日  
施行

昭和×年×月×日

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官



興亞院部長柳井恒夫外二十九名  
叙位ノ件

内閣

裏面白紙

叙從四位

正五位勳三等柳井恒夫

内閣

裏面白紙

裏面白紙

進階満年ニ依ル叙位者名簿

(昭和十五年七月八日現在)

叙從四位	昭和十二年四月十五日滿三年	昭和十五年七月八日
正	五	位以上陞叙高等官一等
興亞院部長正五位勳三等 柳井恒夫		

内閣

1025

17

めくれず

内閣内位第263号

在京

在京

同	同	敍從四位
同	同	昭和十年七月十五日
同	同	正五位
同	同	五年以上
同	同	經過
同	同	昭和五年三月二十日
同	同	陸敍高等官三等
同	同	内務技師正五位勳五等河口 協介
同	同	岩澤忠恭
同	同	上關徳也

8123 ✓  
8122 ✓  
8129 ✓

右文武官敍位進階内則第二條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十五年七月二十三日

内務大臣 佐々木 貞二



内務省

内閣司第一三一

敘從四位

昭和人十二月廿六日 經過 昭和四年七月廿三日

正五位 五年 陸敘高等官三等 判事正五位勳五等

酒卷貞一郎

右文武官敘位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十五年七月廿三日

司法大臣 風見

章



司法省

日本書紀卷第五十四





文部省  
文部省  
文部省

叙従四位

正五位  
九  
五  
位  
正五位  
九  
五  
位  
正五位  
九  
五  
位

公立中學校長  
正五位  
裏川  
寅藏

右文武官叙位進階内則第六條ニ依リ隨テ奏ス

昭和十五年七月廿三日

文部大臣 橋田 邦彦



文部省

農位 第二三五号

在京

敘從四位

昭十五年九月日

三年以上

昭十五年七月十一日  
陞敘高等官一等

農林省水産局長正五位勳四等

粟屋 仙吉

右文武官敘位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十五年七月二十四日

農林大臣 石 黒 忠 篤



農 林 省

内閣高位第一四八号

在

銑從四位

昭和三十五年七月一日  
銑正五位

三年

昭和三十五年七月一日  
商工省第一号

商工省監理局長正倉敷四等牧 栢雄

右文武官叙位進階内則第二條依り謹テ奏ス

昭和十五年七月二十三日

商工大臣 小林一



商  
工  
省

内閣勅令第一九六号

在 京

銜從四位

昭和三十二年三月一日  
銜正五位

三年以上

昭和三十二年三月七日  
高等官一等

商工省鐵鋼局長正五位勲三等塩谷狩野吉

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十五年七月二十三日

商工大臣 小林一



商 工 省

内閣連比第一七七号

叙從四位

昭和十五年八月一日  
三年 昭和十五年七月十五日  
正五位 以上 陞叙高等官一等

逋信局長正五位勳等中村松次郎

右文武官叙位進階内則第三條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十五年七月廿三日

逋信大臣村田省藏



逋信省

内閣 敕 第一八七号

「在京」

敍從四位

昭十五年八月一日經過滿昭十五年七月五日鐵道省運輸局長

長崎惣之助

右文武官官敍位進階内則第二條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十五年七月二十二日

鐵道大臣 村田省藏



鐵道省

昭和十五年七月二十三日

位經過奉送昭和十五年九月十五日朝鮮總督府檢事從罷敷等齊藤榮治

右文武官敍位進階内則第二條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十五年七月二十三日

朝鮮總督南次郎



朝鮮總督府

丙 拓佐 五八八

叙從四位正昭和三十五年四月十日 五 位經過五年昭和三十五年四月十日 朝鮮道立醫院醫官正五位勲四等高田昇

同昭和三十五年十月十日 經過三年昭和三十五年七月一日 朝鮮總督府財務局長正五位勲四等水田直昌

同昭和三十五年三月十日 朝鮮總督府金羅南道知事同 同 新貝肇

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ

謹ニ奏ス

昭和十五年七月二十三日

朝鮮總督 南次郎



朝鮮總督府

(第 五 頁)



内閣 昭和十五年七月九日

敘正四位昭和九年三月八日經過 昭和五年七月日 臺北帝國大學教授後位勲三等富田雅次

右文武官敘位進階内則第二條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十五年七月二十三日

臺灣總督小林躋造



臺灣總督府

上奏書用紙

(日本標準規格 B. 4)

内為一九三〇号

叙従四位

昭和十年四月一日 經過年數 昭和十五年三月二日  
正五位五年 高等官二等

關東法院檢察官正五位勲四等三田勝

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十五年七月 日

滿洲國駐劄特命全權大使梅津美治郎



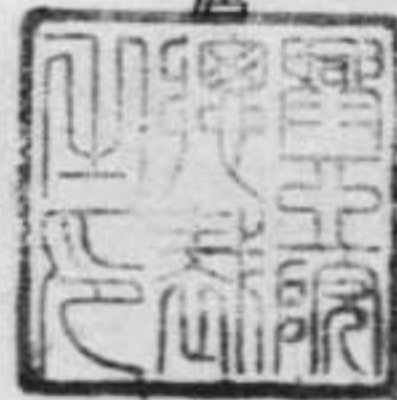
關東局

昭一五官發第一六八九號

昭和十五年七月二十四日

興亞院總裁公爵近衛文

磨



内閣總理大臣公爵近衛文磨殿

高等官敘位ノ件

興亞院部長柳井恒夫別紙ノ通敘位相成候様致度此段及上  
申候

内閣

裏面白紙

めくれず

内務大臣官房 甲第七五六 號

別紙 河口協介外二名敍位ノ件

上奏書進達ス

昭和十五年 七月 二十三日

内務大臣 伯耆安元 井玉英秀 二

内閣總理大臣 公爵近衛 文 藏 殿

内務省



裏面白紙

司  
法  
省

司法省人恩第八九八號上奏  
右執奏有之度候也

壹件

昭和十五年七月廿三日

司法大臣

風見

章



内閣總理大臣

公爵近衛文麿殿

判事酒卷貞一郎進致ノ件

(日本標準規格B5紙)

文 部 省

秘恩一二二號

生沼曹六<sup>不</sup>十三名敘位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭和十五年七月廿三日

文 部 大 臣 橋 田 邦 彦



内閣總理大臣 公爵 近 衛 文 麿 殿

裏 面 白 紙

34

文 部 省

秘恩一一六號

裏川寅藏敘位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和十五年七月廿三日

文部大臣 橋田 邦彦



内閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿



35

裏面白紙



農秘甲第五四六號

農林省水産局長正五位勳四等栗屋仙吉敍位ノ件別紙上奏書進達ス

昭和十五年七月二十四日

農林大臣 石 黒 忠 篤



内閣總理大臣 公爵 近 衛 文 麿 殿

農  
林  
省



商案第二四六號

商工省監理局長牧栖雄位階進敘、件  
別紙上奏書進達ス

昭和十五年七月二十三日

商工大臣 小林一



内閣總理大臣 齋藤 文磨殿

商  
工  
省

商奏第二五八號

高工省鐵鋼局長塩谷狩野吉位階進叙  
ノ件別紙上奏書進達ス

昭和十五年七月二十三日

商工大臣小林一



内閣總理大臣小室直樹文啓殿

商  
工  
省

官祕庶第三一三〇號

昭和十五年七月廿三日

逓信大臣村田省藏



内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

別紙中村松次郎進位之件  
上奏書進達又

逓信省



39

めくれず

510

鐵秘第三五七一號

一、鐵道省運輸局長正五位勳四等長崎惣之助敍位ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和十五年七月廿二日

鐵道大臣 村田省藏



內閣總理大臣公爵 近衛文麿 殿



40

裏面白紙

鐵道省

官秘第二五四號

昭和十五年七月二十三日

拓務大臣 松岡洋右



内閣總理大臣公爵 近衛文磨 殿

一 齊藤榮治殿位、件朝鮮總督上奏書  
右及進達候也

拓務省

(進達用紙三號)

官秘第二五二一號

昭和十五年七月二十三日

拓務大臣 松岡洋右



内閣總理大臣公齋近衛文麿殿

一高田昇外名叙位件朝鮮總督上奏書  
右及進達候也

拓務省

(進達用紙三號)

官秘第二五三〇號

昭和十五年七月二十三日

拓務大臣 松岡洋右



内閣總理大臣 齋藤 近衛文磨 殿

二富田雅次叙任ノ件臺灣總督 上奏書  
右及進達候也

拓務省

(進達用紙 三號)

めくれず

裏面白紙

官秘乙第一七四號

昭和十五年 七月 日

滿洲國駐劄特命全權大使梅津美治郎



内閣總理大臣 公爵近衛文麿殿

一三田勝毅位上奏書

右及進達候也

東 領